

# 水稻技術資料 No.6

令和6(2024)年 3月 下都賀農業振興事務所

令和5年産の種子は休眠が深い可能性があります。浸種・催芽はゆっくり行いましょう。  
浸種する水温に注意しましょう。

## ◎ 令和5年産種子の特徴

水稻は高温登熟により、**休眠が深くなる**ことが知られています

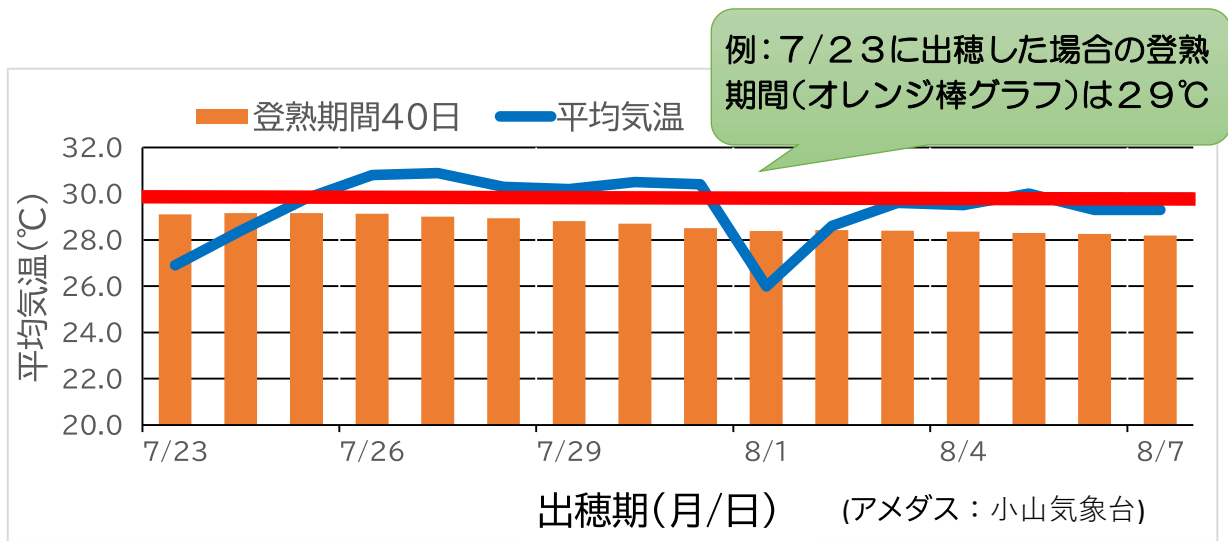


図1 出穂期と登熟期間および日平均気温の関係

登熟期の気温が30°C以上  
↓  
休眠が特に深くなりやすい

## 気をつけること

### 浸種の温度に注意

特に最初に浸ける水温は10°C以上(できれば13°C)  
10°C以下では2次休眠に入る可能性あり

### 浸種は十分に

浸種の積算温度 120°C~130°C(消毒種子)  
水温13°Cならば9~10日間

### 催芽は急がない

催芽の温度を高くしない(28°C~30°C)  
催芽温度が高いと芽が不揃いになりやすい

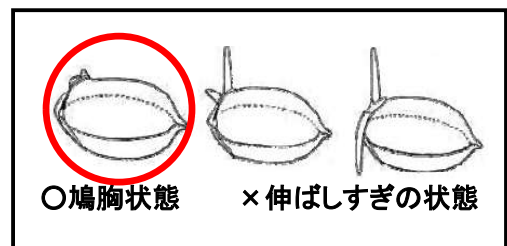


図2 催芽の目安